

授業科目の区分等：基礎教育科目 社会力の養成

| | | | |
|---------|----------|-----------|------------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 半期 | 2年 | 1 | 必修 |
| 担当教員 | | | |
| 森 吉弘 | | | |
| C (商学部) | L (基礎科目) | CD (キャリア) | 201 (中級科目) |

| | |
|-------------|--|
| 授業のねらい (概要) | 就職活動を翌年度の末に控えた2年生。この1年間にやるべきことは「就職活動のための基礎力を身につけること」と「徐々に実践していくこと」と考えます。ではどのような基礎力が必要なのか、来るべき就活に備えてさらに準備しておくことについて学びます。就活は通年採用になり、いつでもエントリーが可能となります(もちろん2年生でも)。意識を高め、早めの準備を促していきます。この講義では、特に、書く・話す・聴く、3つのコミュニケーションスキル⇒自分(体験談)を伝えることに力を入れていきます。この科目では、DP(ディプロマポリシー)に掲げるビジネスに関する基礎的な技能を得ること、また自らのキャリア形成意識を要請することを目的としている。 |
| 授業計画 | <p>第1回 【遠隔】オリエンテーション 2年生の課題・講義での目標を設定する。 できる人の思考と行動の特性を学ぶ。</p> <p>予習(時間)：大学一年次を振り返る「達成・未達成をまとめる(60) 復習(時間)：仕事ができる人になるためには、自分の何が必要かを考える(60)</p> <p>第2回 【遠隔】社会(会社)で求められる力 就職活動・社会人生活で求められる能力って何だろう？ 自分の達成レベルを知る。</p> <p>予習(時間)：1年次に学んだ社会人基礎力に関して、経済産業省のHPなどで再度復習する(60) 復習(時間)：講義で学んだ力を振り返り、力を伸ばすために取り組まなければならないことを決める(60)</p> <p>第3回 【遠隔】仕事に関する考え方の幅を広げる(1) インターンシップとは何か。 最近のインターンシップの傾向を知る。 インターンシップで何を学ぶのか・知ること学ぶ。</p> <p>予習(時間)：インターンシップという制度を学んでくる(60) 復習(時間)：どんなインターンシップがあるのか調べ、エントリーする会社を3社選ぶ(60)</p> <p>第4回 【遠隔】仕事に関する考え方の幅を広げる(2) 価値観の幅を広げるためには何をしたらいいだろう ～非日常行動のススメ～</p> <p>予習(時間)：自分の日常(ルーティーン)を考えてくる(60) 復習(時間)：どんな非日常行動をして、どんな自分の+αをつくるのか考える(60)</p> <p>第5回 コミュニケーションスキル(1) 聴く 「聞く」と「聴く」の違いを理解する 「聴く」で大切なことを学ぶ</p> <p>予習(時間)：話を聞くときに大切にしていることをまとめる(60) 復習(時間)：今後の聴く姿勢について考える 実践することを最低3つは決める(60)</p> <p>第6回 コミュニケーションスキル(2) 書く 左脳と右脳に響く言葉の分類を知る 事実と評価の言葉を学ぶ</p> <p>予習(時間)：どんな言葉が頭で理解できるか、心に共感を生むか、考えてくる(60) 復習(時間)：きょうの振り返りを、事実と評価の言葉を使い分け、書いてみる(60)</p> <p>第7回 コミュニケーションスキル(3) 書く 伝える順番=構成を学ぶ</p> <p>予習(時間)：構成の基本、起承転結について学んでくる(60) 復習(時間)：テレビや映画を、構成を意識して試してみる(60)</p> <p>第8回 コミュニケーションスキル(4) 話す 日本語の特徴を知る 若者言葉を知る</p> <p>予習(時間)：日本語の特徴を書いた本を読んでくる(60) 復習(時間)：社会人には使えない言葉をまとめる(特に自分がよく口にする言葉を中心に)(60)</p> <p>第9回 コミュニケーションスキル(5) 伝える 表現方法の基本である「バーバル」と「ノンバーバル」を知る</p> <p>予習(時間)：バーバル、ノンバーバルとは何か調べてくる(60) 復習(時間)：伝わる人の特徴を調べ、何がよいのかをまとめる(60)</p> <p>第10回 コミュニケーションスキル(6) 話し合う(グループ・ディスカッション) 就活で、ディスカッションを採り入れる面接が多い理由を理解する ディスカッションとは何かを学ぶ ディスカッションにおける役割、手順といった基礎を知る</p> |

| | |
|-------------------------|---|
| | <p>予習（時間）：NHK『日曜討論』といった討論・議論番組を視聴し、ディスカッションとは何かを学んでくる（60） 復習（時間）：ディベート、ディスカッションの違いを明確にし、今後活かせるようにする（60）</p> <p>第11回 コミュニケーションスキル（7）話し合う（グループ・ディスカッション） ディスカッションの評価を理解する。 実際にグループディスカッションを経験する。 評価シートをもとに、自分の改善点を理解する。</p> <p>予習（時間）：前回の講義を復習し、実践できるようにしてくる（60） 復習（時間）：反省をまとめ、次回にはどうするか、きちんとまとめる（60）</p> <p>第12回 プレゼンテーション（1） プレゼンの基礎を学ぶ。</p> <p>予習（時間）：プレゼンの基礎とは何かをまとめてくる（60） 復習（時間）：自分らしいプレゼン方法を考える（60）</p> <p>第13回 プレゼンテーション（2） プレゼンの内容を考える。 プレゼンの練習をする。</p> <p>予習（時間）：基礎ができていないかチェックする（60） 復習（時間）：プレゼンの内容を推敲する（60）</p> <p>第14回 プレゼンテーション（3） 全員の前で1分間で伝えてみよう。</p> <p>予習（時間）：1分という時間単位を体感する。どのくらいの文字数が必要なのか、話したことを文字起こしし、字数を確認してくる（60） 復習（時間）：講義の反省を活かし、5回以上繰り返し、自分のものにする（60）</p> <p>第15回 まとめ 長期休暇の過ごし方を考える。</p> <p>予習（時間）：先輩などに長期休暇の過ごし方を取材してくる（60） 復習（時間）：これからの課題と目標をまとめる（60）</p> |
| 授業を通して身に付けることができる能力（DP） | <p>1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力 2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 4. 大学での学びを地域に還元し、価値を創造する姿勢 とりわけ「3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力」では各学科において、次の能力を有することを求めます。</p> <p>【身に付くスキル】 職業倫理感・生涯学習力</p> |
| 到達目標 | <p>①1対1、かつ1対複数の対話力（コミュニケーション力）が身につく ②仕事への興味がわき、自らが業界、職種、会社を調べようになる</p> |
| 課題や小テスト等のフィードバックの方法 | <p>課題やレポートは、全体的な良い点や改善点については授業内で伝える。</p> |
| 履修上の注意 | <p>日常生活態度や行動が、自分の未来を左右するので、講義は礼儀・マナー・態度には時に厳しく指導する。</p> |
| 成績評価の方法・基準 | <p>学習意欲（30%）、講義内レポート・課題提出（70%）とする。</p> |
| 教科書 | <p>特に使用しません。</p> |
| 参考書・教材 | <p>その都度、紹介していきます。</p> |
| 備考 | <p>演習科目／実務家教員による授業 【課題】 第7回 話の流れについて、起承転結というスタイルはもちろん、ビジネスシーンでの話の流れ（構成）はどうしたらよいか、まとめる。 第8回 日本語の特徴（たとえば、依頼するときに直接的な表現をせず、婉曲的な表現を使う）を5つ調べる。また、社会人には伝えない（使うと印象を悪くする）若者がよく使う言葉（たとえば、色々な意味で普通、大丈夫、という単語を使う）を20個まとめる。 第13回 プレゼンテーションのテーマは、前の講義で伝えるが、これまでの学びを活かし、1分のプレゼンができる内容をまとめる、かつ、何も見ずに伝えられるよう練習しておく。</p> |
| 教員との連絡方法 | <p>メール、または講師室での面談（ただし、授業日に限る）</p> |